

名張市消防フェスティバルを開催

三重県 伊賀南部消防組合

伊賀南部消防組合は、三重県の名張市と伊賀市の一部（旧青山町）を管轄しています。

当消防本部では火災予防に対する啓発を図ることを目的として、伊賀南部幼年少年婦人防火委員会と（財）日本防火協会との共催事業「名張市消防フェスティバル」を毎年開催しています。

本年度は11月20・21日、市内の公園とその周辺の駐車場を会場とし、今回は松尾芭蕉生誕360年の記念イベントをはじめとする3つのフェスティバルと合同で開催し、両日で45,000人の来場者がありました。会場には「消防車両展示コーナー」「はしご車体験乗車コーナー」「煙体験コーナー」「地震体験コーナー」「防火映画上映コーナー」「住宅防火・防災コーナー」などを含む16の展示・体験コーナーを設け、大人から子供まで体験を通して楽しみながら学べる参加体験型のイベントになっています。



特設ステージでは幼年消防クラブ員によるマーチングバンド演奏を実施し、かわいい園児たちの火の用心の呼びかけに、訪れた見物客は防火に対する気持ちを新たにしているようでした。また、伊賀南部防火協会員、少年消防クラブ員、職員が火災撲滅を祈願し、約2,000個の餅を午前と午後の2回に分け、はしご車の上から餅まきを実施し、まかれる餅を受け取ろうと多数の参加者が詰め掛けました。



「防災製品展示・販売コーナー」では、（財）日本防災協会から2名の方にご協力を頂き、防災製品の紹介と販売、防災製品と非防災製品の燃焼比較実験を実施していただきました。多くの来場者が集まり、熱心に説明を聞いたり、質問をしたりと賑わい、「防災製品をはじめて知りました。次に買い換える時はぜひ防災製品にしたい。」という声を数多く聞くことができました。このようなイベントを実施することで、多くの方に防災製品を使っていただくきっかけとなり、火災の減少につながっていけばと考えています。



伊万里市は昭和29年4月に2町7ヶ村の合併により誕生し、今年で50年目を迎えました。この市制50周年を記念し、当市では様々なイベントを開催していますが、消防におきましても、毎年開催しています防災フェアを市制

50周年記念行事とし、11月28日（日）伊万里市民センターにおいて開催いたしました。

開催テーマが「見つめてみよう 過去の災害・明日への備え」ということもあり、新潟県中越地方地震等、ここ数年日本を襲う災害への備えを身に付けようとする市民の関心が高く、500人という多数の来場者で会場はおおいに賑わいました。

当日は晴天にも恵まれ、午後1時、「みんなで一つの音にする」を合言葉に練習を重ねてきた大坪少年消防クラブ員80名による一糸乱れぬ行進とみごとな鼓笛演奏で館外行事がスタートしました。

館内では、消防職員7名による「江戸消防はしごのり」と伊万里農林高校せい至誠龍神太鼓の共演でオープニングを飾り、式典が開催されました。演技者が6mのはしごの上で勇壮な太鼓と竹笛の音色に合わせ、様々な技を繰り出すと来場者からは驚きの声や拍手が上がリ、演技の最後に「火災0をめざして」の垂れ幕が下りると割れんばかりの拍手が起きました。

行事は式典へと移り、市政誕生以来50周年を記念した50年間無火災地区表彰や消防功労者表彰等が行われました。続いて、佐賀地方气象台から北原茂徳先生を講師として招き「気象と災害」～活かそう情報、防ごう防災～をテーマに約1時間の記念講演が行われました。観衆は災害への備え、又、気象情報の大切さをあらためて知り、防火・防災への意識を新たにしている様子でした。

今回の防災フェアは館内・館外で色々なコーナーを設けました。起震車を使った地震体験コーナーや災害パネル展示、てんぷら油火災実験コーナー、市内小学6年生を対象に募集し、612点の作品を展示した防火書道展、他にも小学生や幼児の皆さんを対象にした、竹とんぼ等の竹細工が楽しめる昔の遊びコーナー、金魚すくいコーナー等、大人から子供まで大いに楽しく学んでいただきました。

フィナーレに江戸消防はしごのりと、至誠龍神太鼓の2回目の共演が夕日を浴びた館外で行われ、防災フェア2004は幕を閉じました。

防災フェア2004の開催を通して、来場された方はもちろんのこと、当日の様子はケーブルテレビで放映、また新聞でも大きく掲載されたことで来場できなかった市民の皆様も防火・防災への関心を高められ、伊万里市が目指している「災害のない 安全で 活力に満ちた発展のまち伊万里」の推進の一助となったと思います。



11月12日（金）、臼杵公演グラウンドで「第19回ちびっこ消防士防火運動会」が開催され、消防士に扮した市内の園児たちが元気に、消火器みこしや綱引き、玉入れなど多くの競技に参加しました。

遊びを通じて幼年消防クラブ員の消防知識の向上を図ると共に、クラブ員及び指導者の相互親睦を行い、さらに市民の防火意識の高揚を図る目的で、市内の幼稚園・保育園・保育所ら約450名と職員・保護者・消防署員・消食防団員などが参加して盛大に行われました。

開会式では市少年婦人防火委員会長の田口徹消防長、後藤国利市長があいさつを述べました。

続いて臼杵保育園幼年消防クラブの宮崎海星さんと武生野乃花さんが防火の誓いを披露、全員で「火の用心のうた」を大きな声で合唱しました。

クラブ員たちは、平均台渡りや消火器みこし、ネットくぐりなどのゲームに挑戦しました。また救助工作車とかくらべ（綱引き）、煙体験ハウスで煙の怖さを体験したり、放水体験では3人1組が筒先を持ち、実際に放水し水圧を体験、その後、組別対抗リレーや防火鈴割りなどに続いて、全員の「火の用心防火踊り」で島くくりました。



[▲ このページの上に戻る](#)

平成16年度越谷市幼年消防クラブまつりの開催

埼玉県 越谷市消防本部

11月16日（火）サンシティ・小ホールにおいて、「平成16年度越谷市幼年消防クラブまつり」が行われました。第1部を式典、第2部をアニメ防火映画上映、消防音楽隊演奏会の2部構成で開催し、市内の幼年消防クラブ10クラブのほか、婦人防火クラブ員も参加して行われました。

式典では、クラブ員4,904名を代表して、大沢幼稚園幼年消防クラブ員が声をそろえて「ぼくたち わたしたちは絶対に火あ



そびはしません」と防火の誓いを力強く述べました。第2部の消防音楽隊演奏会では、「ドラえものうた」や「おさかな天国」などを合唱し、最後には参加者全員で「小さな世界」を大合唱しながら閉会しました。

この行事を通じて、開催目標であるクラブの相互交流はもとより、幼年消防クラブの育成拡大と防火思想の高揚が図られました。

なお、このまつりは、今回が初めての開催となりますが、所期の目的を達成することができましたことから、来年も趣向を凝らして開催したいと考えています。



▲このページの上に戻る

第45回BFC防火作品展

宮崎県 延岡市消防本部

平成16年7月、防火作品展実施要領をBFC加盟校39校（延岡市内全小中学校及び特殊諸学校）に配布し、夏休みの課題として防火に関するポスター、書写、詩、作文及び標語を募集したところ、37校から応募がありました。

応募総数13,810点のうち、ポスター380点、書写632点、作文125点、詩96点、標語426点の合計1,659点が消防本部に出品され、審査をBFCの役員である5校の校長が行い、平成16年12月16日（木）から12月20日までの間、延岡総合文化センターに展示したところ、約2,900名の観覧者がありました。

「みんなすばらしい作品でとても感激しました。」「自分達の作品が展示されていてとても嬉しかった。」等大変好評でした。

また、地元新聞やケーブルテレビ等でも報道され、防火PRを行うとともに、特選作品については展示後、移動展として遠隔地の学校15校に順次展示し、ポスター特選1席900枚、標語特選上席3点1,000枚の印刷を行い、春季火災予防運動週間前に市内各事業所に配布してクラブ員や市民に対して防火啓発を行う予定です。



【平成16年度特選標語】

- ◇きえたとおもっても ひだねはひとりで かくれんぼ
（名水小学校 一年 みずもと まりん）
- ◇火のしまつ みんなでまもって にっこにこ
（東海小学校 二年 ふか田 ゆ女）
- ◇火はけした？ これが家族の あいことば
（緑ヶ丘小学校 三年 長渡 彩加）
- ◇見のがすな あなたの目で見た 小さな火

(東海小学校 四年 岡田 真奈)

◇小さい火 ちょっとのゆだんで 大きな火

(南方小学校 四年 黒木 翔太)

◇ちょっと待って ほんとにその火 消えたかな

(東海東小学校 五年 臼井 優介)

◇つかうときは 一人にしないで そばにいて

(東小学校 六年 桑畑 真衣)

◇便利な火 危ない炎に 変えないで

(西小学校 六年 石川 裕)

◇火事になる 理由は一つ 気の緩み

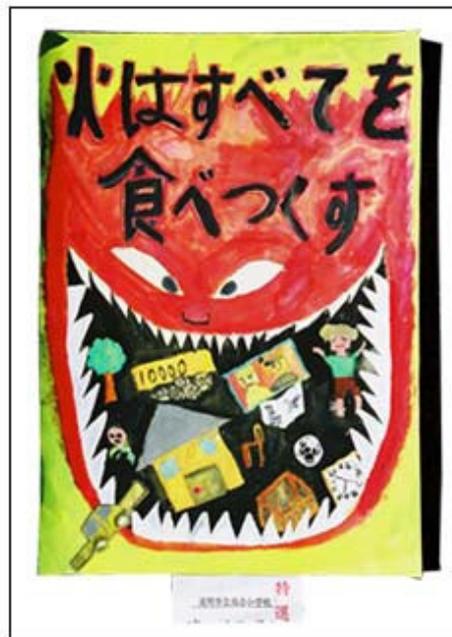
(恒富中学校 一年 赤木 貴登)

◇消したっけ? 迷う心も 火事のもと

(恒富中学校 二年 緒方 彩乃)

◇まよったら もう一度見よう 火の始末

(延岡中学校 三年 児玉 大)



(南方小6年 大谷健人)

[▲このページの上に戻る](#)

青森県防火の集い下北大会

青森県 下北広域行政事務組合消防本部

本州最北の地、青森県の下北半島一円を管轄する下北広域行政事務組合消防本部では、さる11月25日(木)県内の幼少年婦人防火クラブが一堂に会し、「青森県防火の集い下北大会」を開催しました。

大会当日は、表彰、婦人防火クラブ会長の防火宣言、幼年消防クラブ員による防火の誓い、福浦少年消防クラブ員代表による体験発表「生命を守るために」等、厳粛な雰囲気の中で、来場者へ防火意識の更なる高揚を訴える第1部、婦人防火クラブによる踊り、幼年消防クラブ員によるマーチング演奏、和太鼓演技や、少年消防クラブ員による神楽等、防火演技を中心とした明るい雰囲気の中での、第2部の構成で行われました。

防火クラブ員は勿論、地域住民も多数来場され、会場に入りきれない程の大盛況の中での閉幕となりました。

冬の訪れを間近に控えた下北半島で、寒さを吹き飛ばすかのような、暖かい防火の輪が更に広がった1日でした。





▲このページの上に戻る

加古川市婦人防火クラブ研修大会

兵庫県 加古川市消防本部

加古川市婦人防火クラブ研修大会が12月5日（日）13時30分から加古川市防災センターにおいて、開催されました。婦人防火クラブ員ら、200名が参加しました。

各地域（9クラブ）で1年間に、各2回の消防教室（電気・ガス・救急）、防災視察研修等で学習したクラブ員を対象に実施され、第1部式典では、修了証交付、感謝状贈呈、代表クラブ員による「婦人防火クラブ教室に参加して」と題した体験発表を行われました。

第2部講演会においては、講師坂田敏郎先生の「整形外科から見た健康管理」と題した講話により、クラブ員一同は、高齢化社会における健康管理の重要性について学び、常日頃の体調管理が大切であることを認識すると共にクラブ員相互間の親睦を深めるとともに、より一層の防火意識の高揚が図られるなど、有意義な大会であったと思われます。



▲このページの上に戻る

第7回幼年婦人消防大会

山梨県 甲府地区消防本部

（財）日本防火協会の多大な協力を得て開催されたこの大会は、幼年期における正しい火の取り扱いと幼年消防クラブ員であるとの認識を深め幼児の火遊びによる火災の根絶とともに、地域の防火・防災の安全確保、家庭内における火災予防及び防火思想の普及向上を目的として、幼年婦人消防大会を隔年で開催しています。甲府地区消防本部管内の幼年消防クラブ員1,700名、延べで1,900余名が参加して、大会の一部は、挨拶、各団体の表彰後、クラブ員と来賓者とのくす玉りで第二部に

移り、クラブ員全員が法被姿で、出演クラブ員の和太鼓の演奏、鼓笛隊演奏、遊戯、全員による火の用心の歌の合唱及び防火の誓い等、次々と披露して一生懸命に防火のPRに努め、また、婦人防火クラブ員はクラブ員で振り付けを考え、練習を重ねた踊りを披露してくれました。

可愛く一生懸命披露している幼年消防クラブ員の姿に感銘を受けた来場者から大きな拍手が鳴り止まない内容でした。

【大会次第】

- 9 : 20 受付開始
- 10 : 00 開幕
- 10 : 01 開会のことば
- 10 : 02 管理者あいさつ
- 10 : 05 来賓祝辞



来賓紹介

- 10 : 15 表彰
- 10 : 20 謝辞
- 10 : 23 全クラブ員で誓いの演技（くす玉割り）
- 10 : 30 防火演技 南西保育園幼年消防クラブ（甲府市）
- 10 : 40 防火演技 第二上河東保育園幼年消防クラブ（昭和町）
- 10 : 50 防火演技 博愛幼稚園幼年消防クラブ（甲府市）
- 11 : 00 防火演技 万才保育園幼年消防クラブ（甲斐市）
- 11 : 10 防火演技 甲府地区女性防火クラブ連合会
- 11 : 20 防火演技 山梨学院短期大学VYS
- 11 : 34 甲府地区消防音楽隊演奏
- 11 : 44 防火の誓い（幼年消防クラブ・女性防火クラブ）
- 11 : 48 火の用心の歌
- 11 : 51 お礼のことば
- 11 : 53 閉会のことば
- 11 : 55 解散



日時：平成16年11月12日（金）午前10時00分から正午まで

場所：甲府市青沼3丁目5-4 甲府市総合市民会館「山の都アリーナ」

【実施機関】

- (1) **共催：** 甲府地区幼少年婦人防火委員会
財団法人 日本防火協会
- (2) **後援：** 甲府地区広域行政事務組合消防本部
- (3) **協力：** (社) 山梨県消防設備協会
甲府防火協会
甲府市消防団
甲斐市消防団
玉穂町消防団
昭和町消防団
田富町消防団
山梨学院短期大学VYS



参加幼年消防クラブ

- (1) しらゆり幼稚園幼年消防クラブ
- (2) 甲府みなみ幼稚園幼年消防クラブ
- (3) あら川保育園幼年消防クラブ
- (18) 塩部幼稚園幼年消防クラブ
- (19) 伸芽保育園幼年消防クラブ
- (20) 池田保育園幼年消防クラブ

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (4) 博愛幼稚園幼年消防クラブ | (21) 相川保育園幼年消防クラブ |
| (5) 大鎌田保育園幼年消防クラブ | (22) 慶明幼稚園幼年消防クラブ |
| (6) 甲府大里幼稚園幼年消防クラブ | (23) 大里保育園幼年消防クラブ |
| (7) くだま保育園幼年消防クラブ | (24) 玉幡保育園幼年消防クラブ |
| (8) 琢美幼稚園幼年消防クラブ | (25) 押原保育園幼年消防クラブ |
| (9) かほる保育園幼年消防クラブ | (26) 敷島保育園幼年消防クラブ |
| (10) 和成保育園幼年消防クラブ | (27) 松島保育園幼年消防クラブ |
| (11) 玉諸保育所幼年消防クラブ | (28) 玉穂保育園幼年消防クラブ |
| (12) 中央保育所幼年消防クラブ | (29) 万才保育園幼年消防クラブ |
| (13) 甲運第一保育所幼年消防クラブ | (30) 第二上河東保育園幼年消防クラブ |
| (14) 友愛保育園幼年消防クラブ | (31) 昭和保育園幼年消防クラブ |
| (15) 南西保育園幼年消防クラブ | (32) 竜王南保育園幼年消防クラブ |
| (16) 国母保育園幼年消防クラブ | (33) 竜王幼稚園幼年消防クラブ |
| (17) 和泉愛児園幼年消防クラブ | |

賛助出演

- (1) 山梨学院短期大学V Y S

被表彰団体等

- (1) しらゆり幼稚園
(2) 玉穂保育園
(3) 昭和保育園
(4) 東光寺東部女性防火クラブ

防火演技出演団体

- 1組 南西保育園幼年消防クラブ（甲府市）
2組 第二上河東保育園幼年消防クラブ（昭和町）
3組 博愛幼稚園幼年消防クラブ（甲府市）
4組 万才保育園幼年消防クラブ（甲斐市）
5組 甲府地区女性防火クラブ連合会
6組 山梨学院短期大学V Y S
7組 甲府地区消防音楽隊

これからも地域住民の完全・安心で住みよい街づくりのため、あらゆる広報媒体を活用して防火思想の普及向上に努めてまいります。
よろしくをお願いします。

[▲ このページの上に戻る](#)

「みんなの消防フェスタ2004」を開催

愛媛県 松山市消防局

松山市消防局では、「秋季全国火災予防運動」行事の一環として、「みんなの消防フェスタ2004」を11月13日（土）に松山市総合コミュニティセンターで開催しました。
このイベントは、「広げよう防火・防災の輪」と題して、市



内の民間防火・防災団体（幼年・少年・女性防火クラブ・防火管理者連絡協議会・自主防災組織）が中心となり、参加した市民に防火・防災意識の高揚を図ることを目的として実施しました。



主な実施内容は、式典として、防火・防災に貢献した個人及び団体を表彰した後、少年消防クラブ員の研究発表、女性防火クラブ員・自主防災組織・事業所自衛消防隊の体験発表が実施されました。その後の阪神・淡路大震災の被災者による講演では、震災の悲惨な体験談に涙する人も見受けられました。

住宅防火コーナーでは、「わが家の消防計画」と題し、家庭内の防火安全診断を実施するほか、防火・防災に関連する事業所が各種実演や実験を行い、火災予防の重要性を再認識してもらいました。

また、屋外の消防体験コーナーでは、消火器を使用した初期消火や地震体験車試乗・応急手当指導を実施し、火災や救急時の対応を学んでもらうとともに、幼少年消防クラブ員は、ロープ渡りやホース収納など消防現場活動体験をして「ちびっこ消防士」として消防の仕事に理解を深めました。



市民中心型で実施したため、来場された約9,200人の市民に、防火や防災を強くアピールすることができるイベントとなりました。

▲ このページの上に戻る



福井県 丸岡町消防本部

丸岡町消防本部は、鳴鹿防火クラブ員と共に一人暮らし老人宅の防火訪問を行い、鳴鹿防火クラブは、昨年に発足式を行い誕生したクラブで、9月には公民館祭りにあわせ、防災フェアと称した水消火器体験等を実施しました。



当日は、クラブ員が手編みで作製した帽子や消防署から防火粗品としてホッカイロを配布し、これから寒くなる季節の健康管理と火気取扱に対する注意を促しました。

▲ このページの上に戻る

目次

- [1.新春恒例の出初式](#)
- [2.住宅防火対策優良推進組織等表彰式](#)
- [3.全国消防防災主管課長会議](#)
- [4.道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)